

様式第6号（第18条関係）

令和5年度 宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和6年 5月29日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市清武町加納乙1047番地
名 称	加納地域まちづくり協議会
代表者の氏名	会 長 中 原 健 一
電 話 番 号	0985-84-0500

令和5年6月7日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告・収支決算（見込）書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ニ) 備品管理台帳の写し
- (ホ) 地域協議会の意見書〔事業実施報告〕

(様式第5号)

令和5年度 事業実施報告・収支決算（見込）書

清武地域自治区

加納地域まちづくり協議会

1 総括

当初計画していた12事業について、おおむね実施することができた。毎月の運営委員会では各部会の事業計画や事業内容について適宜に報告し合い、課題を共有しながら進めた。まちづくりマルシェ開催事業は、名称を「ひなたdeマルシェ」として地区文化祭と共同開催し、約2000名の方が来場された。また、事業内容に応じて中、高、大学の学生ボランティアを募集し、若い世代を事業に取り込むようにしたことで事業が活気づいた。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	差	備 考
基礎交付金	2,746,794	2,746,794	0	
繰越金	1,224,042	1,224,042	0	
自己資金	100	18	▲ 82	利息
協賛金	20,000	24,000	4,000	まちづくりマルシェ開催事業の協賛金
負担金	100,000	257,200	157,200	加納地区交流センター負担金 清武地域まちづくり協議会負担金
雑収入	50,000	127,050	77,050	まちづくりマルシェ野菜売上金 視察研修返金分
合 計	4,140,936	4,379,104	238,168	

(2) 支出の部

分野	事 業 名	実施年数	予 算	決 算	差	備 考
防	防犯活動推進事業	13年目	650,000	524,934	▲ 125,066	
防	地域防災活動推進事業	13年目	300,000	147,278	▲ 152,722	
環	環境美化活動事業	13年目	150,000	91,422	▲ 58,578	
環	花いっぱい活動推進事業	7年目	150,000	82,313	▲ 67,687	
再	まちづくりマルシェ開催事業	4年目	555,000	563,348	8,348	
再	イルミネーション事業	3年目	200,000	72,321	▲ 127,679	
健	いきいき健康推進事業	9年目	200,000	92,259	▲ 107,741	
伝	伝統文化継承事業	13年目	260,000	328,911	68,911	
伝	鯉のぼり掲揚事業	7年目	120,000	81,080	▲ 38,920	
他	加納地域まちづくり協議会だより広報事業	14年目	170,000	192,224	22,224	
他	まちづくり計画推進事業	4年目	400,000	384,565	▲ 15,435	
他	まちづくり協議会管理運営事業	14年目	985,936	765,588	▲ 220,348	
繰 越 金				1,052,861		
合 計			4,140,936	4,379,104	238,168	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防犯活動推進事業	(防犯部会)	実施年数	13年目																		
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし																			
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり																					
目 的 (期待される効果)	加納地域の住民が、安心して生活できる環境と地域の地盤を作ることを目的とする。																					
事業内容・手段	(1) 「防犯パトロール活動」や「見守り活動(10年目)」等の実施 【時 期】 通年 【場 所】 加納地域14地区内 【参加人数】 延べ1,000名程度 【内 容】 ・青色防犯パトロール車(リース車)による巡回活動を平日はほぼ毎日実施し、夜間も週に2～3回程度実施することができた。 ・青パト新規隊員を募集し、更新者も含めた講習会を2回実施した。巡回体制の強化を図り、現在100名の登録隊員が活動している。 ・警察署や交番、地域安全協会、自治会等と協働で地域安全運動街頭キャンペーンを実施し、住民への防犯意識を促した。青パト車のスピーカーによる街頭キャンペーン広報も行い、住民への呼びかけを行った。 4月(計24名)、12月(計21名)、8月と10月は天候不良のため中止。 ・自治会、青少年育成協議会、小中学校等と連携し、主要交差点等での愛の一声あいさつ運動を計12日間実施した。(4月・6月・9月・1月) ・青少年育成協議会、交番等と協働で、加納中学校正門や学校近くでの下校時の交通指導及び自転車安全運転指導を行った。(5月・11月) ・きよたけ郷土祭において青パト隊員18名がパレードに参加し、安全・安心のまちづくりを呼びかけた。 ・空き交番となった旧加納交番への青パトの立ち寄りや不審者情報などの情報共有に努めた。																					
事業費	524,934円																					
対 象 者	加納地域住民																					
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>青パト巡回関連</td><td>557 人</td><td>610 人</td></tr><tr><td>街頭キャンペーン</td><td>45 人</td><td>119 人</td></tr><tr><td>あいさつ運動</td><td>150 人</td><td>120 人</td></tr><tr><td>自転車安全運転指導</td><td>43 人</td><td>— 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>795 人</td><td>849 人</td></tr></table> ※ 参加者数は年間延べ人数				年 度	令和5年度	令和4年度	青パト巡回関連	557 人	610 人	街頭キャンペーン	45 人	119 人	あいさつ運動	150 人	120 人	自転車安全運転指導	43 人	— 人	合 計	795 人	849 人
年 度	令和5年度	令和4年度																				
青パト巡回関連	557 人	610 人																				
街頭キャンペーン	45 人	119 人																				
あいさつ運動	150 人	120 人																				
自転車安全運転指導	43 人	— 人																				
合 計	795 人	849 人																				
住民の声(アンケートの結果等)	・アンケートは実施していないが、青パト車による見守り活動に対しては、子どもたちの反応もよく、安心して登下校できると学校や保護者からの感謝の声がよく届く。																					

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・小中学校、警察署との連携を密にし、情報交換に努めるとともに、青パト開始時に情報伝達を徹底し、被害予防と防止に努めた。	広報	⑤事業の周知	A	A	・あいさつ運動や見守り活動等の日程や内容について、各自治会や諸団体等にチラシを配布したり、SNSを活用して周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・青パト車、広報紙による広報のほか各種会合等あらゆる機会をとらえ、住民への協力依頼に努め、自治会役員、PTA、個人ボランティアの方々など地域ぐるみの活動推進が図られた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域まちづくりの推進母体としての意識のもと、各種行事に取り組み、妥当且つ十分な連携であった。	事業の効果		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・パトロール活動や愛の一声あいさつ運動等における自治会役員や見守り隊、小中PTA、個人ボランティア等、良好な協力、連携が図られた。		事業継続の必要性			
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞							
		・自転車安全運転指導については、加納中学校正門付近で自転車通学生徒だけでなく、徒歩の学生にも声をかけ、自転車の交通ルール遵守について指導するようにした。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							

事業名	地域防災活動推進事業	(防災部会)	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり															
目的 (期待される効果)	災害発生時に対応できる防災経験や防災意識の向上を目的とする。															
事業内容・手段	(1)「防災講座」の実施 【実施時期】9月24日(日) 【場 所】加納交流センター 多目的ホール及びこども広場 【参加人数】61名 【内 容】 ・地域内の安全や防災について、DIG(災害図上訓練)方式で各自治会ごとに災害時の避難経路や課題等を出し合いながら地図上にまとめ、発表を行った。また、避難時に地域で火災が起きた場合も想定しての協議も行った。 ・こども広場において、火おこしとハイゼックス(炊飯袋)を使った炊飯や非常食の湯煎を行い、参加者に試食してもらった。 (2)「地域総合防災訓練」の実施 【実施時期】2月18日(日) 【場 所】加納小学校体育館及びその周辺 【参加人数】200名程度(一次避難参加者を含まず) 【内 容】 ・消防団の機材投入や防災体験、応急手当や給水車の体験等、防災に関する様々な知識や体験活動を実施した。 ・同一時刻一斉に地震発生を想定したシェイクアウト訓練を行い、住民の方には、ご自宅等で身の安全を守る行動を促した。その後、一時避難や指定避難所へ、各自治会や個人で避難訓練としての参加いただいた。 ・体育館内では、地震体験コーナーや、AED、ロープ結索、段ボールベッド設置などの体験を行った。屋外では、消防車両の展示のほか、地震体験車、煙テント体験、水消火器訓練など行い、様々な防災体験ができるようにした。 (3)防災スキルアップ研修会の実施 【実施時期】①7月8日(土) ②10月26日(木) 【場 所】加納地区交流センター・学習室及び和室 【参加人数】①20名 ②20名 【内 容】 ・防災部会員及び地域内の防災士に参加を呼び掛け、座学及び実技研修を行った。 ①女性消防団員3名より、救命措置(心肺蘇生法とAED)についての説明と実技指導を受けた。 ②宮崎南消防署員5名より、災害時や日常生活の中でも生かせるロープ結索について実技指導を受けた。															
事業費	147,278 円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>204人</td><td>210人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>110人</td><td>141人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>314人</td><td>351人</td></tr></table> ※(1)～(4)の各事業の参加者数の延べ人数				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	204人	210人	スタッフ	110人	141人	合 計	314人	351人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	204人	210人														
スタッフ	110人	141人														
合 計	314人	351人														
住民の声(アンケートの結果等)	・DIGは、各地区ごとの地図上で具体的なシミュレーションができたとの感想があった。 ・地域総合防災訓練では、能登半島地震を受け興味深く参加したとの声が多かった。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・各自治会で行われている自主防災活動以上の実践的な防災活動の場として期待されていると感じる。	広報	⑤事業の周知	A	A	・地域総合防災訓練については、広報紙やチラシのほか、自治会長等の意見交換会でも周知を行った。
	②住民の参加	A	A	・特に地域総合防災訓練事業はコロナ明け、能登半島地震直後でもあり、参加が増えた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・各自治会では困難な防災体験や講座等の機会として事業を活用していただけた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域住民の防災意識の向上を図るための体験活動の機会は貴重であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・地域総合防災訓練のアンケートでは、参加をリピートしたい旨の好意的な意見が多かった。
	④各種団体との連携	A	A	・各自治会や防災士、消防団等のご協力をいただき、防災講座や地域総合防災訓練を実施することができた。	事業継続の必要性				④有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・避難訓練を含めた地域総合防災訓練が始まって2年が経過し、事業内容が地域に浸透しつつあるが、毎回同じ内容でなく、今回は避難誘導経路訓練を付加した。また、会場を屋外と屋内(体育館)にしたことで、訓練内容の幅が広がった。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							

〔２〕環境に係る事業

事業名	環境美化活動事業	(環境部会)	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. <u>はないっばい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 3. <u>えがおいっばい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・環境美化意識の啓発 ・河川環境美化活動 ・ボランティア活動の推進															
目的 (期待される効果)	きれいで住み良いまちづくりを目指し、地域住民自らが率先して地域の美化に関心を持ち、実践できるような環境を作ることを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「環境パトロールや不法投棄の監視等」の実施 【実施時期】 環境パトロール（7月6日（木）のみ） 看板設置（通年） 【場 所】 加納地域14地区内（川沿い、山間部道路沿い他） 【参加人数】 パトロール5名、ごみ集積所看板設置6地区 【内 容】 ・地域の山間部道路沿いや八重川の堤防沿い等を中心に実施した。 ・不法投棄禁止の看板設置箇所を点検するほか、各自治会のゴミ集積所のごみ分別啓発看板を追加設置して、地域住民への啓発を行った。 (2) 「八重川堤防沿いの環境整備」の実施 【実施時期】 年3回（①6月25日 ②9月17日 ③12月3日） 【場 所】 加納地域内八重川兩岸 【参加人数】 ①108名 ②76名 ③81名 【内 容】 ・八重川河川愛護会と連携し、協働作業で取り組んだ。 ・各自治会、諸団体、中学生ボランティア、市職員きずなプロジェクト等と連携してごみ拾い活動を呼びかけ、多くの参加があった。 ・作業中は、青パト車による巡回アナウンスでごみの分別や環境美化をPRした。															
事業費	91,422円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>219人</td><td>198人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>51人</td><td>45人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>270人</td><td>243人</td></tr></table> ※年間の活動参加者の延べ人数				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	219人	198人	スタッフ	51人	45人	合 計	270人	243人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	219人	198人														
スタッフ	51人	45人														
合 計	270人	243人														
住民の声（アンケートの結果等）	・台風後の八重川のごみが多くなっていた。 ・作業に参加したが、どこをすればよいかの分担を分かりやすく提示してほしい。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・八重川や線路沿い、山林等へのごみの不法投棄について、意見交換会や部会等で問題提起されている。	広報	⑤事業の周知	A	B	・チラシや広報紙による事業の案内や報告等による事業の周知を行い、協力や理解を得るように努めている。
	②住民の参加	A	A	・八重川の清掃活動も定着し、一般の方々や中学生の参加も多くなってきた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・ごみ集積所へのごみの分別啓発の看板設置を進めた。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域の環境問題についての情報発信や清掃活動への参加推進は欠かせないものであり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	B	・八重川沿いで散歩やランニングをされる方から、清掃活動への感謝の言葉をいただいた。
	④各種団体との連携	A	A	・河川愛護会や各自治会等と連携し、地域の美化活動の推進の一助となっている。	事業継続の必要性			㊦ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済	
	<意見への対応>								
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済	
<意見への対応>									

事業名	花いっぱい活動推進事業	(環境部会)	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成29年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	1. <u>はないっぱい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 3. <u>えがおいっぱい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・ボランティア活動の推進															
目的 (期待される効果)	花や緑があふれる美しい景観をつくることにより、地域全体に活力を生むことを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「花いっぱい植栽活動」の実施 ①花の植栽活動（ひまわりとコスモス） 【実施時期】 草刈り作業及び耕耘作業8月中旬 種蒔き作業8月26日（土） 開花10月中旬～11月上旬 【場 所】 加納小学校正門横の畑及び学校農園 【参加人数】 延べ77名 【内 容】 ・加納小学校正門付近の畑と学校農園・実習田で、畑の耕耘作業、ひまわりとコスモスの種蒔き、草抜き等植栽及び管理を行った。部会員だけでなく、多くのボランティアの方に畑の準備や草刈り等の協力をいただいた。 ・開花の時期には、小学生だけでなく、保護者や地域住民の方々に喜ばれた。 ②花の植栽活動（春の花と菜の花） 【実施時期】 耕耘作業 11月15日（水） 種蒔き作業 菜の花11月20日（月） 開花3月中旬～4月下旬 苗植え作業 春の花12月3日（日） 苗の間引き作業 2月26日（月） 【場 所】 加納小学校正門横の畑 【参加人数】 延べ41名 【内 容】 ・ひまわりの植栽の撤去後、畑の耕耘作業や肥料の追加を行い、整地し、菜の花の種を蒔いた。 ・宮崎市花いっぱい推進事業による花の苗380本の提供を受け、花の苗を植えた。															
事業費	82,313円															
対象者	清武・加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>52人</td><td>35人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>66人</td><td>76人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>118人</td><td>111人</td></tr></table> ※活動参加者の延べ人数				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	52人	35人	スタッフ	66人	76人	合 計	118人	111人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	52人	35人														
スタッフ	66人	76人														
合 計	118人	111人														
住民の声（アンケートの結果等）	・休耕地の活用もでき、通学路が花で彩られる良い取組である。 ・冬から春にかけて、花が楽しめるので楽しみである。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・子どもたちの通学路を美しい環境にする取組のモデルとして継続してほしいという声があった。	広報	⑤事業の周知	A	A	・広報紙だけでなくLINEやFacebook等で参加協力等を呼びかけたり、事業の様子を伝えたりして周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・地域貢献活動の一つとして主体的に参加するグループの方々がおられた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・休耕地の活用は今後も進めていきたい。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域内を花や緑で豊かにし、環境を整える取組は要望も多く、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・農作業に参加したり、花の成長を見守ったりできて楽しかったといった参加者の声が多かった。
	④各種団体との連携	A	A	・宮崎市花いっぱい推進事業を活用し、花の苗の提供を受けることができた。		事業継続の必要性		㊦ ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・農作業に慣れていないことも多く、耕耘作業や種蒔き作業等、もっと計画的に進められるようにしていきたい。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済

〔３〕地域再生に係る事業

事業名	まちづくりマルシェ開催事業（マルシェ実行委員会）	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. <u>はないっばい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. <u>はらいっばい</u> ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. <u>えがおいっばい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・地産地消の推進や食文化の継承 ・地域住民・世代間交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	地域の食や文化にふれる機会を通して、地域住民の交流を深め、地域を活性化することを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 「ひなたdeマルシェ2023」の開催 【実施時期】 11月18日(土) 19日(日) 加納地区文化祭との共催 【場 所】 加納地区交流センター・加納公園 【内 容】 ・地域の食や文化に親しむ機会として、加納地区文化祭との共催で、名称を「ひなたdeマルシェ」と改め、実施した。 ・各自治会、保育園、小・中学校PTA、各団体、地元の事業者等と連携し、農産物や雑貨、加工品、テイクアウト食品等の販売や体験活動等を通して、世代間の親睦や地域住民の交流の場をつくることのできた。 ・スタンプラリーで体験活動を行い、多くの入場者が参加し、楽しんでいた。環境部会（ごみの分別）、健康福祉部会（健康チェック）、防災部会（ロープワーク・防災スリッパ作成）など、こどもだけでなく、大人も楽しんで参加していた。 ・ステージでは、交流センター利用団体のほか、小・中学校、地域の方など17グループの発表で盛り上がった。 ・館内では、作品展示を行い、幼保園、小・中学校・各団体や一般の方からの作品が展示された。 ・18日のふれあい広場では、国際交流、バルーンアート、息軒かるた体験が行われた。														
事業費	563,348円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>2,000人</td><td>1,500人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>300人</td><td>372人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,300人</td><td>1,872人</td></tr></table> ※前日準備及び当日の参加者延べ人数			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	2,000人	1,500人	スタッフ	300人	372人	合 計	2,300人	1,872人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	2,000人	1,500人													
スタッフ	300人	372人													
合 計	2,300人	1,872人													
住民の声（アンケートの結果等）	・地域活性化につながる良いイベントで、今後も続けてほしい。 ・食のイベントなので、もっとキッチンカーや販売店があるとよい。 ・人が集まって、成果を発表する良い機会だった。大人から子どもまで楽しめるイベントだった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・加納地域全体で楽しめるイベントを望む声が多く、ニーズがある。	広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシやポスター、広報紙などあらゆる機会を活用して周知を行った。地域内の店舗等へのポスター掲示も行った。
	②住民の参加	A	A	・昨年以上に住民の参加も増え、少しずつ地域に定着してきた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・全部会が横断的に取り組む事業として、各部会の連携を図るよい機会となった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・地域全体で取り組むイベントとして、地域の活性化を図る良い機会であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・地域住民の方々からも喜ばれ、文化祭との一体化が図られた良い企画であった。
	④各種団体との連携	A	A	・自治会や諸団体、小・中PTA、学生ボランティアなど、多く協力があり、地域ぐるみのイベントとして定着させたい。		事業継続の必要性			⑦ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・地区文化祭との共催による実行委員会を立ち上げ、準備を進めたことにより、人的な面だけでなく、経理の面からも相互に補完し合いながら事業を進めることができた。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済	
	＜意見への対応＞								
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済	
	＜意見への対応＞								

事業名	イルミネーション事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地域住民・世代間交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	まちづくりの拠点である加納地区交流センターの認知度を高めるとともに、地域住民に憩いの場を提供することを目的とする。														
事業内容・手段	(1) イルミネーション事業の実施 【実施時期】 10月21日(土)竹灯籠の竹準備 11月27日(月)～12月1日(金)設置準備・飾り付け 12月2日(土)点灯式 1月18日(木)撤去作業 【場所】 加納地区交流センター 【参加人数】 準備50名 点灯式160名程度 撤去19名 【内容】 ・加納地区交流センターの芝生広場周辺をイルミネーションで飾り付け、冬の憩いの場を提供した。一部新たに加えた材料でデザインし、より充実したイルミネーションとなった。 ・設置準備から多くの方にご協力いただき、手作り感のある飾りができた。 ・点灯式当日は、今年も地域の子どもたちによるハンドベル演奏を行い、クリスマスムードを高めた。 ・マルシェの際に子どもたちが作成した竹灯籠を飾った。														
事業費	72,321円														
対象者	加納地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>160人</td><td>120人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>69人</td><td>52人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>229人</td><td>172人</td></tr></table> ※準備、点灯式、撤去作業の延べ人数			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	160人	120人	スタッフ	69人	52人	合 計	229人	172人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	160人	120人													
スタッフ	69人	52人													
合 計	229人	172人													
住民の声 (アンケートの結果等)	・冬のイベントとしてふさわしい。家族で記念写真を撮りに来た。 ・竹灯籠の飾りも加わり、大変良かった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域内で楽しめる機会や場所を望む声は多い。	広報	⑤事業の周知	A	A	点灯式やイルミネーション事業について、チラシやSNSを活用して周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	準備段階から多くの方が参加し、設置作業も含め、みんなで楽しむことができた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	魅力的なまちづくりに向けて協議会が取り組んでいることの象徴となり、効果的である。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の拠点としてまちづくり協議会や交流センターが存在することを示す機会として有意義であり、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	交流センターの利用者からも、イルミネーションが大変綺麗で素晴らしいとの声が聞かれた。
	④各種団体との連携	A	A	昨年度よりも諸団体からの協力を得られることができた。	事業継続の必要性				④ ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・ 飾りつけや撤去作業へのボランティア協力が多かった。作業を進めるためには、事前の準備がかなり必要である。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応		未 ・ 済	
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応		未 ・ 済	
		<意見への対応>							

[4] 健康づくりに係る事業

事業名	いきいき健康推進事業	(健康福祉部会)	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成26年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	2. はらっぱい ～おなかも心も満たされるまちへ～ 3. えがおっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・健康増進 ・スポーツ交流 ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	地域住民の健康増進や世代間交流を推進し、明るく豊かな地域を作ることを目的とする。															
事業内容・手段	(1)「スポーツ体験活動」や「健康講座」の実施 ①「健康づくり講座」の実施 【実施時期】7月2日(日) 【場 所】加納地区交流センター 多目的ホール 【参加人数】51名 【内 容】 ・講師 中川早人先生(健康運動指導士)の指導による健康講座 「運動とウクレレで笑顔と健康を！」の演題で、手軽な運動を楽しむことと、音楽療法としてのウクレレ体験を行った。 ②「グラウンドゴルフ大会」の実施 【実施時期】11月4日(土) 【場 所】加納公園 多目的広場A/B 【参加人数】72名 【内 容】 ・5名程度のグループを編成し、2グループずつ対戦した。お互いにスコアを付けながら2ラウンドのゲームを楽しんだ。 ・10名がホールインワン賞、その他お楽しみ抽選会による賞品、及び参加賞を全員に進呈した。 ③「カローリング体験」の実施 【実施時期】2月4日(日) 【場 所】加納交流センター 多目的ホール 【参加人数】36名 【内 容】 ・カローリングのルールや運動の仕方をビデオで学習した後、2～3人のチームに分かれて、投げ方の練習を行った。 ・対戦チームを決めてゲーム方式で楽しんだ。 ・参加者全員に参加賞を進呈した。															
事業費	92,259円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>102人</td><td>119人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>57人</td><td>59人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>159人</td><td>178人</td></tr></table> ※参加者数は3事業の延べ人数				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	102人	119人	スタッフ	57人	59人	合 計	159人	178人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	102人	119人														
スタッフ	57人	59人														
合 計	159人	178人														
住民の声(アンケートの結果等)	・初めてグラウンドゴルフをやってみたが、予想以上に楽しかった。 ・広報の仕方を工夫して地域にPRし、もっと多くの方が体験できるようにするとよい。 ・カローリングは手軽にできてとても楽しい運動であった。みんなに知ってもらいたい。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・毎回、事業ごとにアンケートを取り、住民の要望を把握するようにしている。コロナ明けで健康への関心は高まってきていると思われる。	広報	⑤事業の周知	A	B	・チラシや広報紙で事業を呼びかけたり、小学校の一斉メールで広報していただくなど周知に努めた。
	②住民の参加	A	A	・参加された方には大変喜ばれているので、もっと多くの方に参加してもらえるようにしたい。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・世代をこえて触れあえる健康づくりのイベントや福祉講座などの取組は必要であり、妥当な内容である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	・各自治会のさんさんクラブや小学校にも、事業参加を呼びかける協力をしていただいた。		事業継続の必要性		④ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・子どもたちやその保護者の参加が増えるように小学校の一斉メールによる事業案内をした。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応		未 ・ 済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応		未 ・ 済

[5] 伝統文化に関する事業

事業名	伝統文化継承事業	(教育文化部会)	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・健康増進 ・伝統文化の継承 ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	郷土の歴史や文化に触れる活動を通して、伝統文化の礎を再確認し、更に継承していくことを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 清武町域「三神社神楽まつり」の実施及び神楽舞の支援活動 【時期】10月8日(日) 【場所】宮崎市清武文化会館 半九ホール 【参加人数】約300名 【内容】 ・清武町域三神社(船引神社・中野神社・今泉神社)に伝わる神楽舞の継承、振興に向け、三神社が一堂に会した神楽まつりを実施した。 ・清武地域まちづくり協議会や神楽保存会と連携しながら運営した。 (2) 史跡めぐりウォーキングの開催 【時期】1月21日(日) 【場所】加納小学校から加納地域内の史跡等の往復 【参加人数】100名程度 【内容】 ・「史跡めぐりガイドブック」を活用しながら、加納小学校発着～伊東祐堯公墓～船引神社をめぐってのウォーキングを行った。 ・伊東祐堯公墓では、安井息軒記念館の長野さんに解説いただいた。 ・船引神社では、神楽保存会の方のご協力で神楽殿において、神楽を5演目鑑賞した。 (3) 「ものづくり体験教室」の実施 【時期】7月29日(土) 【場所】加納地区交流センター 学習室及び和室 【参加人数】60名 【内容】 ・優れた技能と経験を持つ「ものづくりマイスター」による「ITプログラミング」と「型染め」の指導を受け、ものづくりへの興味関心を高めた。親子連れでの体験ができた。															
事業費	328,911円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>460人</td><td>62人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>135人</td><td>39人</td></tr><tr><td>合計</td><td>595人</td><td>101人</td></tr></table> ※3つの活動についての延べ人数				年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	460人	62人	スタッフ	135人	39人	合計	595人	101人
年度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	460人	62人														
スタッフ	135人	39人														
合計	595人	101人														
住民の声(アンケートの結果等)	・今後も三神社神楽まつりの開催を熱望するといった声が多数あった。 ・神楽殿での神楽の鑑賞もできて、大変良い機会だった。 ・ものづくりマイスターの指導が丁寧で分かりやすかった。もっと多くの子どもたちが参加するとよい。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・地域の歴史や文化について興味関心が高い方が多く、事業への問い合わせも多かった。	広報	⑤事業の周知	A	B	参加者募集のチラシやSNSでの発信、広報紙で事業の周知を行った。新聞でも事業の様子が掲載され効果的だった。
	②住民の参加	A	A	・三神社神楽まつりにおいては、参加者も多く、関心も高いようだった。		⑥課題解決への作用	B	B	・参加者の様子から、身近な場所の古き良き歴史や文化にふれることができて良かったのではと感じた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の良さや歴史を学ぶ機会としてこれらの取組は妥当である。	事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	・ものづくり体験教室ではものづくりマイスターの指導が丁寧で参加者から大変喜ばれた。 ・神楽舞をじっくりと鑑賞でき、参加者からは好意的な感想がたくさんあった。
	④各種団体との連携	A	B	・史跡めぐりウォーキングでは船引神社神楽保存会の協力を得て、神楽舞の披露も兼ねた事業ができた。		事業継続の必要性		④ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・各事業とも参加者に少しでも満足いただけるように事前準備をしっかりと行うことができて良かった。 ・三神社神楽まつりは、地域外からの参加もあり、共催事業として今後も継続が望まれる。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済

事業名	鯉のぼり掲揚事業	(教育文化部会)	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成29年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・ 伝統文化の継承 ・ 地域住民・世代間交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	子どもの健やかな成長や健康、安全を願い、地域全体で祝うことを目的とする。															
事業内容・手段	「鯉のぼり掲揚」の実施 【実施時期】 令和5年5月27日（土）（前年度分の撤去） 令和6年3月16日（土）（今年度分の掲揚） 【場 所】 加納公園 こども広場 【内 容】 ・ 令和5年5月に、3月に掲揚した鯉のぼりの撤去活動を行った。 ・ 掲揚期間中、鯉のぼりやロープが外れたこともあり、事務局で鯉のぼりの揚げ降ろし等の調整を行った。 ・ 掲揚にあたっては、部会員や役員、地域の方の協力をいただきながら準備を進め、竹の運搬や設置、鯉のぼり付け等を行うことができた。 ・ 鯉のぼり掲揚事業についてチラシを作成し、地域住民に広報した。 ・ 掲揚イベントとして、保育園児の合唱で会場を盛り上げ、園児にも掲揚に参加してもらうことができた。															
事業費	81,080 円															
対 象 者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>120 人</td><td>100 人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>55 人</td><td>45 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>175 人</td><td>145 人</td></tr></table> ※5月鯉のぼり撤去作業、3月掲揚作業等参加者延べ人数				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	120 人	100 人	スタッフ	55 人	45 人	合 計	175 人	145 人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	120 人	100 人														
スタッフ	55 人	45 人														
合 計	175 人	145 人														
住民の声（アンケートの結果等）	・ こども広場に掲揚された鯉のぼりを子ども連れで見に来られる方も多く、見るだけで楽しい気分になると喜ばれていた。 ・ 自宅での鯉のぼり掲揚がなかなかできない状況なので、地域にこのような場所があって有り難い。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・各家庭での鯉のぼり掲揚がなかなかできない状況であるので、公園での掲揚を楽しみにされている方が多い。	広報	⑤事業の周知	A	B	・鯉のぼり掲揚事業について、まちだよりやLINE、Facebookでも広報した。
	②住民の参加	A	A	・交流センター利用者の方が地域貢献のボランティアとして、鯉のぼり設置や撤去作業への参加があった。					
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・こどもの成長を願う思いが、目に見える形で実現される取組であるので妥当である。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・公園を利用する方も多く、憩いの場の提供として効果的である。
	④各種団体との連携	A	B	・地域内の2つの保育園がイベントに参加、河川愛護会の方々には設置作業協力をいただいた。					
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・掲揚イベントを開催し、保育園児や一般の方々にも楽しんでもらえた。 ・鯉のぼり設置後の安全管理を十分に行う必要がある。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							

〔6〕その他の事業

事業名	加納地域まちづくり協議会だより広報事業（広報部会）		実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. <u>はないっばい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. <u>はらいっばい</u> ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. <u>えがおいっばい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～															
目的 (期待される効果)	まちづくり協議会の役割や活動に対する地域住民の理解を深め、まちづくりへの参画につなげることを目的とする。															
事業内容・手段	「加納地域まちづくり協議会だより」の発行 【実施時期】年3回（6月・12月・3月）発行 10月に増刊号を発行 【部数】各5,000部（増刊号4,500部） 【規格】A4サイズ両面カラー印刷（8P構成） 【内容】 ・事業内容の周知やPR活動報告のほか、地域で活躍する個人の紹介も取り入れて掲載した。 ・各自治会の行事が少しずつ復活してきたので、増刊号として、地域内の取組や祭りの様子などを伝えた。 ・幅広い世代に読んでもらえるように、分かりやすく読みやすい紙面づくりを心がけた。 【配付方法】 ・自治会加入世帯は、自治会を通して各世帯に配付した。 ・清武総合支所や宮崎市社会福祉協議会清武支所、宮崎市清武文化会館、四季の夢、その他の公共機関、事業所、近隣の大学等に設置し、配付や回覧等を依頼した。 ・事業内容によっては、福祉施設や児童センター、保育所等にも設置、小・中学校等には、PTA戸数で配付した。 ・他地域のまちづくり推進委員会にも送付し、お互いの取組についての情報交換に役立てた。															
事業費	192,224円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>5人</td><td>0人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>10人</td><td>11人</td></tr><tr><td>合計</td><td>15人</td><td>11人</td></tr></table> ※一般からの写真データの提供者数を付加				年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	5人	0人	スタッフ	10人	11人	合計	15人	11人
年度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	5人	0人														
スタッフ	10人	11人														
合計	15人	11人														
住民の声（アンケートの結果等）	・自治会の祭りや行事等についてまとめた増刊号を発行したが、興味深く手に取ってもらえたようである。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・まちづくりの事業の様子を知らせるだけでなく、各自治会の様子も知りたいといった声があった。	広報	⑤事業の周知	A	A	・各事業や地域の情報等を発信したり、まちづくりのPRとして地域協議会などでも周知材料として配布したりした。
	②住民の参加	A	A	・地域の取組等を紹介する記事を集めたことから、自治会長や地域住民に一部の記事内容や写真の提供等をして頂いた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	・8ページの紙面によって、各事業の案内や報告等、詳しく紹介することができた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・まちだより発行を通して、各事業の発信や地域との連携等の推進を図ることにつながっていることから、妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	・写真を活用した紙面づくりを心掛け、地域住民からも喜ばれている。
	④各種団体との連携	A	A	・各団体や事業所、小中学校等にもまちだよりの設置や配付をし、相互の連携を図るようにしている。	事業継続の必要性				④有 ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・各自治会や個人の記事を掲載し、身近なまちだよりとして発行することができ、良かった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未 ・ 済
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未 ・ 済

事業名	まちづくり計画推進事業	(事務局)	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和2年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. <u>はないっばい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. <u>はらいっばい</u> ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. <u>えがおいっばい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～															
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりの実現に向けて、まちづくり協議会の認知度を向上させ、部会員や支援者を増やすことや各種団体との連携強化につなげることを目的とする。															
事業内容・手段	「住民主体のまちづくりのための計画推進」の実施 【時期】 通年 【内容】 ・事業開催時や街頭キャンペーン時に部会員や支援者(サポーター)の募集チラシの配布等のPR活動を行った。 ・まちづくり協議会の事業や取組の周知活動として、他の推進委員会等にまちだよりやチラシ等を進呈し、情報交換を行った。 ・地域住民に地域内で撮影した写真を公募し、採用した写真をもとにフォトカレンダーを作成した。令和6年度まちづくりフォトカレンダーとして、12月末に各世帯に配付し、公共機関や地域内の事業所等にも設置した。 ・視察研修として、役員及び事務局員で大分県竹田市にある「まちづくりたけた株式会社」を訪問し、竹田市の概要や観光、町の課題に即した地域おこしの在り方などについて学んだ。タウンマネジメント事業やコンサルティング事業など会社組織としてのまちづくりの内容であったが、参考になる取組みがたくさんあった。															
事業費	384,565円															
対象者	加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>7人</td><td>8人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>15人</td><td>14人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>22人</td><td>22人</td></tr></table> ※まちづくりフォトカレンダーへの参加者及び 視察研修への参加者等の延べ人数				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	7人	8人	スタッフ	15人	14人	合 計	22人	22人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	7人	8人														
スタッフ	15人	14人														
合 計	22人	22人														
住民の声 (アンケートの結果等)	特にアンケートは取っていない。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項			評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	・自治会長や各団体の会長等との意見交換会を年に2回開催し、意見や要望を伺う機会としている。	広報	⑤事業の周知	B	B	・カレンダー写真の応募チラシを各世帯や中学校、事業所等に配付するとともに、Facebookや公式LINEも活用した。		
	②住民の参加	B	B	・まちづくりフォトカレンダーの写真を住民から募集した。			A	A		・先進的な取組をしている行政や施設で学んだことをアイデアの一つとして事業に活用できた。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・各事業の開催時にPR活動の機会を設けることで、幅広い人材の協力を求めることができることから、妥当である。	事業の効果	⑦住民の満足度	B	B			
	④各種団体との連携	A	A	・様々な機会を活用して周知活動を行い、各団体との連携を図るようにした。			事業継続の必要性			㊦ ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・地域住民から応募のあった写真を使ってカレンダーを作成し、令和6年（1月から12月まで）版を12月末に配布した。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞									

事業名	まちづくり協議会管理運営事業		(事務局)	実施年数	14年目																					
事業期間	開始：平成22年度			終了：なし																						
地域魅力発信 プランとの関連	1. <u>はないっぱい</u> ～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. <u>はらいっぱい</u> ～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. <u>えがおいっぱい</u> ～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～																									
目的 (期待される効果)	住民主体のまちづくりを目指し、各部会や諸団体と連携して円滑な事業運営や備品の整備・管理を行うことを目的とする。																									
事業内容・手段	「まちづくり協議会管理運営」の実施 【時期】 通年 【場所】 加納地区交流センター内 加納地域まちづくり協議会事務局 【内容】 ・運営委員会13回、三役会4回、各部会等計28回、自治会長等との意見交換会2回、他団体との会議や打ち合わせを3回実施した。 ・4月総会については、4年ぶりに対面での実施ができた。 ・まちづくり協議会と各種団体等とのスムーズな連携を図るよう連絡調整を行い、事業の運営に当たった。 ・事務局内の備品整理や適切な会計管理を行い、円滑な事業運営の実施に努めた。 ・LINEやFacebook等を活用し、事業や各部会の活動等の情報発信を行ったり、各部会の連絡調整にも活用した。																									
事業費	765,588円																									
対象者	加納地域まちづくり協議会会員及び関係団体																									
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>総会</td><td>80人</td><td>90人</td></tr><tr><td>役員会等</td><td>160人</td><td>140人</td></tr><tr><td>意見交換会</td><td>64人</td><td>65人</td></tr><tr><td>各部会等</td><td>410人</td><td>480人</td></tr><tr><td>部会員会議</td><td>77人</td><td>75人</td></tr><tr><td>合計</td><td>791人</td><td>850人</td></tr></table> ※年間の延べ人数					年度	令和5年度	令和4年度	総会	80人	90人	役員会等	160人	140人	意見交換会	64人	65人	各部会等	410人	480人	部会員会議	77人	75人	合計	791人	850人
年度	令和5年度	令和4年度																								
総会	80人	90人																								
役員会等	160人	140人																								
意見交換会	64人	65人																								
各部会等	410人	480人																								
部会員会議	77人	75人																								
合計	791人	850人																								
住民の声（アンケートの結果等）	・特にアンケート等は取っていない。																									

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	・自治会長や各団体の会長等との意見交換会を年に2回開催し、意見や要望を伺う機会としている。	広報	⑤事業の周知	B	B	・まちだよりや掲示ポスター、Facebookなどにより広報活動を行ったが、会員同士の連絡にはLINEも活用することが多かった。
	②住民の参加	B	B	・各部会時の部会員の出席率は約65%で、事業について部会員の意見やアイデアを生かしながら事業運営に努めた。	事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	・地域住民のニーズや課題をしっかりと把握し、新事業等の企画や継続事業の内容の改善に努めたい。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	・地域内の各団体を繋げる役割を果たすためにも妥当である。		⑦住民の満足度	B	B	・各部会の事業等について、SNS等で発信することも増え、それに対する反応も以前より多くなってきた。
	④各種団体との連携	A	B	・各団体や自治会との意見交換会を2回開催できたことは大変効果的だった。各団体との連携を強め、住民の参加を広げていきたい。	事業継続の必要性				④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・部会員への連絡体制の一部をLINEオープンチャットで行うようにした。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞								
	＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済	
	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞								
		＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	防犯活動推進事業	(防犯部会)
-----	----------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	174,934	
2	繰越金	350,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	524,934	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	備考
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	197,404	消耗品費(のぼり旗・のぼり旗ポール他) 58,396 円 食糧費(お茶) 11,158 円 燃料費(ガソリン) 127,850 円
5	役務費	87,770	リース車任意保険料(年払い) 87,770 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	239,760	軽自動車リース料 239,760 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	524,934	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	地域防災活動推進事業	(防災部会)
-----	------------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	47,278	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	147,278	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	73,732	消耗品費(紙コップ・紙皿・薪・ポリ袋他) 16,635 円 食料費(お弁当・お茶) 47,357 円 印刷費(チラシ) 9,000 円 燃料費(ガソリン) 740 円
5	役務費	3,646	レクリエーション保険料 3,646 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	69,900	インバーター発電機 69,900 円
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	147,278	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	環境美化活動事業	(環境部会)
-----	----------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	41,422	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	91,422	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	91,422	消耗品費(ゴミ分別看板) 49,500 円 消耗品費(草刈り替刃・手提げ袋) 10,598 円 参加賞(ティッシュ) 3,488 円 印刷費(チラシ) 5,520 円 食糧費(お茶・パン) 22,316 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	91,422	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	花いっぱい活動推進事業	(環境部会)
-----	-------------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	42,313	
2	繰越金	40,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	82,313	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	78,313	消耗品費(プレート看板他) 39,171 円 消耗品費(肥料・種他) 12,650 円 食糧費(弁当・お茶他) 19,340 円 燃料費 7,152 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	4,000	機材借用料 4,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	82,313	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	まちづくりマルシェ開催事業	(マルシェ実行委員会)
-----	---------------	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	190,748	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金	0	
4	協賛金	24,000	出店者からの協賛金
5	負担金	123,750	加納地区交流センターと折半分(音響・ステージ設営費)
6	雑収入	124,850	野菜の売上金
7	合計(A)	563,348	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	貸金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	327,168	消耗品費(レジ袋・容器・防水スプレー他) 14,418 円 消耗品費(横断幕・風船・ヘリウムガス・景品他) 102,403 円 消耗品費(野菜の仕入れ) 111,150 円 食糧費(お弁当・お茶) 83,917 円 印刷費(チラシ) 15,280 円
5	役務費	9,680	申請手数料 3,500 円 賠償・レクリエーション保険 6,180 円
6	委託料	220,500	音響設営費 50,000 円 ステージ設営費 170,500 円
7	使用料及び賃借料	6,000	自家用車借用料 6,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	563,348	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	イルミネーション事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	22,321	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	72,321	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	68,991	消耗品費(コンテナ・電動ドラム他) 29,518 円 消耗品費(イルミネーションライト・キャンドルライト他) 21,155 円 食糧費(お弁当) 6,978 円 参加賞(お菓子・QUOカード) 11,340 円
5	役務費	330	振込手数料 330 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	3,000	機材借用 3,000 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	72,321	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	いきいき健康推進事業	(健康福祉部会)
-----	------------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	92,259	
2	繰越金		
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	92,259	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	謝金 6,000 円
3	旅費		
4	需用費	86,259	食糧費(お茶) 7,414 円 印刷費(チラシ) 16,552 円 消耗品費(参加賞・賞品) 62,293 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	92,259	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	伝統文化継承事業	(教育文化部会)
-----	----------	----------

(1)収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	95,461	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金	133,450	清武地域まちづくり協議会と折半(謝金・チラシ・ポスター・プログラム)
6	雑収入		
7	合計(A)	328,911	

(2)支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	156,000	三神社神楽まつり謝金 126,000 円 史跡めぐりウォーキング謝金 30,000 円
3	旅費		
4	需用費	172,911	印刷費(チラシ・ポスター) 26,520 円 印刷費(プログラム) 15,770 円 食糧費(お茶・お弁当・お供え等) 60,941 円 参加賞(おにぎり弁当・エコバッグ・せんぐまき他) 69,680 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	328,911	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	鯉のぼり掲揚事業	(教育文化部会)
-----	----------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	61,080	
2	繰越金	20,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	81,080	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	55,420	消耗品費(砂・番線・杭・ポリ袋他) 6,716 円 消耗品費(参加賞お菓子他) 9,992 円 消耗品費(鯉のぼり) 32,450 円 賄材料費(もち米・もち粉) 2,760 円 印刷製本費(チラシ) 2,350 円 食糧費(お菓子) 1,152 円
5	役務費	15,660	賠償責任保険料(掲揚期間中) 15,660 円
6	委託料	10,000	運搬料(トラック運搬委託) 10,000 円
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	81,080	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	加納地域まちづくり協議会だより広報事業	(広報部会)
-----	---------------------	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	142,224	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	192,224	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	192,224	まちだより40号印刷代 5,000部 50,506 円 まちだより増刊号 4,500部 43,831 円 まちだより41号印刷代 5,000部 47,700 円 まちだより42号印刷代 5,000部 50,187 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	192,224	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	まちづくり計画推進事業	(事務局)
-----	-------------	-------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	342,365	
2	繰越金	40,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入	2,200	視察研修返金分
7	合計(A)	384,565	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	10,000	謝金(マイクロバス運転) 10,000 円
3	旅費	235,800	旅費(宿泊費10,900×15名) 163,500 円 旅費(日当2,200×15名×2日) 66,000 円 旅費(高速料金) 6,300 円
4	需用費	91,465	まちづくりTシャツ 52,800 円 印刷費(カレンダー・チラシ) 21,620 円 参加賞(QUOカード) 7,280 円 燃料費(軽油) 9,765 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	47,300	マイクロバスレンタル料(2日間) 47,300 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	負担金		
12	公課費		
13	合計(B)	384,565	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
加納地域まちづくり協議会

事業名	まちづくり協議会管理運営事業	(事務局)
-----	----------------	-------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	441,528	
2	繰越金	324,042	
3	自己資金	18	利息
4	協賛金		
5	負担金		
6	雑収入		
7	合計(A)	765,588	

(2) 支出の部

番号	科 目	金 額	備 考
1	賃金	5,400	次年度職員引継ぎのための賃金 5,400 円
2	手当	177,573	時間外手当(2名分) 177,573 円
3	旅費	51,000	旅費(役員経費) 51,000 円
4	需用費	259,526	消耗品費(コピー用紙・封筒・文具代ほか) 76,351 円 消耗品費(タオル) 26,950 円 消耗品費(コピー機カウンター料) 56,797 円 食糧費(お茶) 99,428 円
5	役務費	216,229	通信運搬費(はがき・切手代) 75,230 円 通信運搬費(電話代・インターネット利用料) 80,099 円 ボランティア保険料 @350円×174名分 60,900 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	16,060	コピー機再リース料 16,060 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	39,800	インパクトドライバーセット 39,800 円
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	765,588	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和6年 5月29日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市清武町加納乙1047番地
名 称 加納地域まちづくり協議会
代 表 者 の 氏 名 会 長 中 原 健 一 印
電 話 番 号 0985-84-0500

令和5年6月7日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、決算において、1,052,861円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添付書類

令和5年度収支決算（見込）書

令和 6 年 5 月 2 9 日

令和 5 年度 加納地域まちづくり協議会への意見書 [事業実施報告]

清武地域自治区地域協議会
会長 野田 三津枝

令和 5 年度の清武地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていまして、承認いたします。

記

1 総括

地域住民の生活意識向上のため、地域にあったまちづくり活動を実施されている。

なお、地域住民がより一層まちづくりに参画されるよう、今後も事業の周知方法等について検討をお願いしたい。

2 事業の推進体制

特になし。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
	特になし。

4 その他

特になし。